

事業所における自己評価結果（公表）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか	○		運動遊びなど、活動によってより広い部屋を使用したい場合は、館内の広い部屋を借出しスペースを確保している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	○		施設基準に合致した人数の職員を配置している。児の状態や活動により職員が足りない場合は部分的に係員がサポートに入っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	○		聴覚障がい児者にとって聞き取りやすい環境を整えるため、二重窓を設置して屋外の騒音を減らしている。また反響音が顕著な療育室は、床にマットを敷く、壁面に吸音ボードを設置するなどの対策をしている。 広い部屋を使用する際は、活動に集中しやすいようついでを利用して視覚的刺激を整理している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	○		清掃・消毒などに努めているが、施設そのものの老朽化が顕著であり限界がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○		個別療育室が4室あるため適宜使用している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		年1回利用者アンケートを実施し、その結果を職員間で共有し業務改善に使用している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会を確保しているか	○		
	11	適切に年間カリキュラムが作成、公表されているか	○		年間カリキュラムは作成しているが、公表はR7年4月～の予定である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		
	13	児童発達支援計画を作成する際は、児童発達管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○	他に母集団をもつ児が多いため当園に求められる支援内容が限局的になりがちだが、支援計画を作成する際は広い視点から児の発達を捉え支援内容を提案したい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	保育士、児童指導員、言語聴覚士で構成するチームで立案をしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	基本となるプログラムは準備しているが、在園児の状況に合わせて柔軟に変更を加えている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか	○	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援しているか	○	週1回学年ごとのミーティング、療育当日の事前事後ミーティングを定例で行い、課題の流れや具体的な手続き、職員間の役割分担の確認、修正を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	○	療育担当者が参加している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行っているか	○	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	併行利用する保育園、幼稚園等に対して、難聴講座の開催、園訪問、公開療育等を実施し、連携を図っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか	○	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	○	
30	（自立支援）協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	当園からは参加していないが、同センター他係から参加している。	

	(31は、事業所のみ回答)			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか			
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のないこどもと活動する機会があるか		○	在園児のうち大部分が地域の保育園、幼稚園との並行通園をしているため、そのような機会を準備する必要性が低いと考えている。在籍の園での他児との関わりなどについても、園訪問の際などに助言を行っている。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		集団療育日には1時間の学習会で当日のこどもの様子を振り返り分析を行う。個別療育では毎回15分程度保護者と療育を振り返る時間をとっている。
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○		
保護者への説明責任等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別懇談の場で説明を行い、同意を得ている。
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○		保護者間の交流の場を求める声は多いため、現在行っている交流会以外にも交流の場を検討したい。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	○		通園日より、行事予定表を作成し配布している。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか	○		
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		聴覚障がいがある保護者への情報保障は本人のニーズを確認の上、手話通訳、文字変換アプリ、筆談等の対応を行っている。
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域在住のサービス相談員を当園のクリスマス会に招待し、療育内容を紹介する機会とした。あわせて、在園児と保護者に紹介をする機会とした。
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月1回通園防災訓練、年2回センター防災訓練を実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		保護者は健康状況調査票に左記の内容を記入、提出しており、担当職員、主治医は内容を把握している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		給食提供開始前にアレルギーの有無を確認し、有る場合は指示書の提出を求める。指示書を確認後、調理業務担当職員、療育担当職員、保護者が話し合いを行い給食提供内容の確認を行う。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	○		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に虐待防止委員会を実施している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。